

平成27年度福島原子力災害復興交付金事業状況報告書

(基金の運用実績)

(単位：円)

事業区分	基金の保有区分	平成27年度 当初保管額	運用益繰入額	平成27年度 支出済額	過年度充当分積 戻し額	平成27年度 年度末保管額
福島原子力災害復興 交付金事業	福島原子力災害 復興勘定	100,000,000,000	5,909,263	1,879,275,648	0	98,126,633,615
合計		100,000,000,000	5,909,263	1,879,275,648	0	98,126,633,615

※ 本表は基金の保有区分ごとに記載すること

※ 基金の保有区分は基金管理運営要領第3の2で定める「基金の運用方法」を参考に記載すること。

※ 運用益繰入額は、当該年度に基金の運用によって生じた果実の金額を記載すること

※ 支出済額は、当該年度内に支出負担行為を行い、出納整理期間に支出をしたものを含む。ただし、当該年度に債務負担行為のみを行ったものについては含まない。

平 2 7 年度福島原子力災害復興交付金事業状況報告書

(福島原子力災害復興交付金事業の結果)

事業名	事業 実施主体	事業経費 (千円)						目標	目標 達成度 ・評価	事業結果 (事業の目的・内容・完了期日、 経費の使用方法・内訳を含む。)
		基金充当費		単独経費		合計				
		予算	決算	予算	決算	予算	決算			
チャレンジふくしま「ロボット産業革命の地」創出事業	県	435,532	338,010	0	0	435,532	338,010	本県の復興をけん引する産業として重視しているロボット産業の集積 ※交付要綱第4条第1項第2号(3)医療及びエネルギー関連等に係る重点産業の進出支援事業に該	1 ロボット技術開発支援事業 会津大学と地元ロボット企業が連携し、災害対応ロボットの導入、ロボットソフトウェアの開発が進んだ。	1 ロボット技術開発支援事業 【内容】 (1)会津大学と浜通りロボット関連企業との共同研究・開発 ・ソフトウェアに付加価値がついた大型災害対応ロボット、小型災害対応ロボット、鳥瞰視点カメラロボット、虫瞰視点カメラロボットの導入と動作検証を実施。 (2)会津大学における先端ICTラボソフトウェアライブラリーの整備 ・産総研 OpenRTM-aist を踏まえ、本学の先端 ICT ラボにソフトウェアライブラリ基盤の試行版を構築するとともに、人材育

								当		<p>成の観点から兼愛企業や学生等を対象として、標準化されたロボットのソフトウェア研修を実施。</p> <p>【完了時期】 平成28年3月</p> <p>【経費】 負担金、補助及び交付金 276,940千円</p>	
									2	<p>ロボット導入事業</p> <p>県産のアシスト型ロボットを51社130台現場導入することができた。</p>	<p>2 ロボット導入事業</p> <p>【内容】 県産ロボット等を流通分野などの現場に導入し、県民が身近にロボット（アシストスーツなど）の便益を享受できる環境を整備</p> <p>【完了時期】 平成28年3月</p> <p>【経費】 負担金、補助及び交付金 61,070千円</p>
									3	<p>ふくし</p>	<p>3 ふくしまロボットバレー形</p>

									まロボット バレー形成 推進事業 イノベーション・コー スト構想の 具体化の進 捗状況を考 慮し、平成28 年2月に減額 補正した。 (6,685千円 →0千円)	成推進事業 【内容】 県内のロボット関連産業の動 向調査など 【完了時期】 平成28年3月 【経費】 委託料 0千円
	県	149,431	135,255	0	0	149,431	135,255	本県の復興 をけん引す る産業とし て重視して いる医療・福 祉施設への 介護支援ロ ボットの導 入	1 介護支 援ロボッ ト導入モ デル事業 72台のロ ボットを28 施設に貸与、 作業軽減効 果を検証し、 ニーズ調査	1 介護支援ロボット導入モデ ル事業 【内容】 介護支援ロボットを無償で貸 与し、介護現場における作業軽減 等を検証 【完了時期】 平成28年3月 【経費】 委託料ほか 50,965千円

							※交付要綱 第4条第1 項第2号 (3)医療及 びエネルギー 関連等に 係る重点産 業の進出支 援事業に該 当	や普及啓発 を実施 2 医療施 設用ロボ ット導入 モデル事 業 30 台のロ ボットを 12 病院に貸与 し、事業の有 用性を検証	2 医療施設用ロボット導入モ デル事業 【内容】 リハビリ用の動作支援ロボッ トを無償で貸与し、医療現場にお ける有用性を検証。 【完了時期】 平成28年3月 【経費】 委託料ほか 84,290 千円
県	96,965	61,867	0	0	96,965	61,867	県内企業の ロボット産 業への参入 促進(ふくし まの未来を 開くロボッ トフェア開 催事業の目 標来場者数 は2,000人)	1 ふくし まの未来 を開くロ ボットフ ェア開催 事業 平成27年 11月3日開 催、来場者 は約4,800人。 会場の規模	1 ふくしまの未来を開くロボ ットフェア開催事業 【内容】 ロボット産業への関心を高め るため、若い世代を対象にロボッ トの可能性や有用性を周知する フェアを開催 【完了時期】 平成27年11月 【経費】 委託料ほか 13,923 千円

							<p>※交付要綱 第4条第1 項第2号 (3)医療及 びエネルギー 関連等に 係る重点産 業の進出支 援事業に該 当</p>	<p>は、3,114 m²。 2 ロボッ ト関連産 業基盤強 化事業 採択テー マ6件(補助 金支給額 38,564千 円)、平成28 年3月23日 に成果発表 会を開催し、 134人が参 加。ロボット 産業参入支 援等セミナー 開催3回。 ロボット産 業参入支援 員1名設置。</p>	<p>2 ロボット関連産業基盤強化 事業 【内容】 ロボットの要素技術開発に係 る経費の助成及び県内企業への ロボット産業参入支援 【完了時期】 平成28年3月 【経費】 負担金、補助及び交付金ほか 41,762千円</p>
--	--	--	--	--	--	--	--	---	--

									3 被災地支援ロボット開発事業 除草ロボット実験機及び漏電検出・通報実験機により検証を行ったところ、双方とも所定の動作を確認でき、これをもとに次年度モデルの設計が完了した。(予定通り進捗した。)	3 被災地支援ロボット開発事業 【内容】 営農地における獣害対策のため、自走式電気防獣柵除草ロボットを開発 【完了時期】 平成28年3月 【経費】 備品購入費ほか 6,182千円
	県	28,955	27,666	7	6	28,962	27,671	農林水産分野における実用性と普	市販のアシストスーツを農作業	1 農林水産業支援ロボット開発促進事業 【内容】

								及性の高い支援ロボットの開発	に利用できるように改良し、性能試験を実施した結果、操作性、耐候性が向上。また、除草ロボットの除草試験を実施した。性能向上に向け改良を実施し、有用性を確認できた。	アシストスーツ及び水田除草ロボットの有用性調査及び改良 【完了時期】 平成28年3月 【経費】 委託料ほか 27,671 千円 ※ 基金充当費は、農林水産業における省力化や安全確保を目的とした支援ロボットの開発促進に係る経費 (27,666 千円)。単独経費は、それ以外の経費 (6 千円)。
教育旅行復興事業	県	150,000	52,252	0	0	150,000	52,252	原子力災害の風評払拭による本県への教育旅行の人数増加	当初目標は1,200校であったが、制度が浸透しなかった面などがあり、313校となつ	1 教育旅行復興事業 【内容】 学校行事の一環として福島県内で宿泊を伴う教育旅行を実施する県外の小中高等学校に対し、その移動に係るバス経費の一部補助と記念品等の贈呈

								※交付要綱 第4条第1 項第3号 (2)教育旅 行回復支援 事業に該当	た。 しかし、新 規122校、 18,175人泊 の実績があ ったことか ら、教育旅行 キャラバン 等の成果が 着実にあが っている。	【完了時期】 平成28年3月 【経費】 負担金、補助及び交付金ほか 52,252千円 (旅費 985千円) (委託料 25,167千円) (補助金 26,100千円) 【事業結果】 バス助成実績313校 (新規122校、継続191校)
避難地域 復興拠点 推進事業	避難地域 12市町 村	1,500,000	851,625	0	0	1,500,000	851,625	避難地域1 2市町村に おける復興 拠点づくり を支援 ※交付要綱 第4条第1 項第1号 (2)~(4) に該当	合計5事 業に対し交 付を行った ことで、避難 地域の復興 拠点づくり を支援	1 避難地域復興拠点推進事業 【内容】 避難地域12市町村で計画さ れている復興拠点づくりについ て、福島再生加速化交付金等の既 存の国庫補助制度等において対 象とならない事業を対象に交付 金を交付 【完了時期】 平成28年3月 【経費】 補助金 851,625千円

										<ul style="list-style-type: none"> ・飯舘村深谷地区復興拠点の道の駅エリアの用地取得及び残土受入工 (74,510 千円) ・飯舘村深谷地区復興拠点の花弁栽培施設・多目的交流広場の用地取得費 (57,392 千円) ・飯舘村深谷地区復興拠点の花弁栽培施設・多目的交流広場の残土受入造成工 (220,624 千円) ・飯舘村深谷地区復興拠点の道の駅エリアの造成工 (347,973 千円) ・楡葉町コンパクトタウンの分譲団地 (18 戸) 用地取得・造成事業 (151,126 千円)
原子力災害被災事業者等総合支援事業	県	9,122	1,716	0	0	9,122	1,716	避難指示区域内事業者の事業・生業の再建を支援 ※ 交付要綱第 4 条第 1	3,500 者の被災事業者を個別訪問し、事業課題のヒアリングをはじめ、各種支援制度の説明や	1 被災 12 市町村被災事業者再建支援事業 【内容】 原子力発電所事故の被災事業者の事業や生業の再建に向け、閣議決定に基づき設置された「福島相双復興官民合同チーム」に参加し、被災 12 市町村の事業者の訪

								項 第 一 号 (6) 帰還及 び再生に資 するソフト 事業に該当	経営コンサル 等を実施。 また、再訪 問も行っ ている。	問調査等を実施 【完了時期】 平成28年3月 【経費】 事業運営費 1,716千円
ふるさと ふくしま 帰還支援 事業	県	136,000	50,890	240,000	48,940	376,000	99,830	避難者の帰 還と恒久住 宅への円滑 な移行を支 援 ※交付要綱 第4条第1 項第四号及 び第3項た だし書き 福島県全域 の復興並び に地域の自 立を効果的 に進める事 業に該当	対象世帯 が見込みよ り少なかっ たが、避難者 の生活再建 の後押しと なり、恒久住 宅への円滑 な移行を円 滑にすることが できた。	1 ふるさと住宅移転支援事業 【内容】 県内外の応急仮設住宅等から、 県内(県内避難世帯については避 難元市町村)の恒久住宅へ移転す る世帯のうち、既存事業等の対象 とならない世帯に対し、移転に伴 う費用を補助 対象世帯 (H27 交付決定実績) 1,590 世帯 (うち基金充当分 832 世帯) 【完了時期】 平成28年3月 【経費】 負担金、補助及び交付金 99,830千円 ※ 基金充当費は平成27年1 月以降の移転に係る経費

										(50,890千円)。単独経費は、それ以外の経費(48,940千円)。
常磐自動車道追加インターチェンジ整備事業	県 大熊町 双葉町	360,000	18,114 (繰越: 341,886)	0	0	360,000	18,114 (繰越: 341,886)	大熊、双葉町 民の帰還、復興拠点における各種施策の加速化を支援 ※交付要綱第4条第1項第4号福島県全域の復興並びに地域の自立を効果的に進める事業に該当	大熊町、双葉町に交付金を交付するとともに、用地調査の一部を県で実施し、事業の進捗を図っており、両ICともに供用に向けて、適正に事業が執行されている。	1 追加IC整備事業 【内容】 常磐自動車道への連結許可を受けた(仮称)大熊IC、(仮称)双葉ICの整備について、事業主体となる大熊町、双葉町に対し、交付金を交付するとともに、事業の円滑な執行を図るため、用地測量・調査等業務の一部を県が実施 【完了時期】 (仮称)大熊IC 平成31年3月 (仮称)双葉IC 平成32年3月 【経費】 委託料(県) 40,000千円【繰越】 負担金、補助及び交付金(大熊町、双葉町) 18,114千円【H27支出】 301,886千円【繰越】

(計)		2,866,005	1,879,276	240,007	48,946	3,106,012	1,928,221			
-----	--	-----------	-----------	---------	--------	-----------	-----------	--	--	--